

-
1. 本会の開催日時 2022年1月13日(木) 9:00-10:10
 2. 開催形式 Zoomによるオンライン開催
 3. 参加者 土居、今井、赤堀、藤沢、米倉、小川、三澤、高村、小林、新沼、秦、関戸、寺家、青山、中川 (欠席：岳藤、湯通堂、高羽)
 4. 審議
 - (ア) 国立天文台運営会議の委員推薦
 - ・天文台長からV懇会長宛てに2022-2023年度国立天文台運営会議委員の推薦依頼があった。締め切りは1月末である。
 - ・非推薦者の資格は国立天文台以外に所属する教授職である事。
 - ・複数を候補として挙げるのがよいのではないか、という意見が主流。
 - ・新たな委員候補として高橋慶太郎さん(熊本大学)、米倉覚則さん(茨城大学)、久野成夫さん(筑波大学)を推薦することにした。いずれも本人との確認を経ている。
 - ・被推薦者は必ずしもV懇会員である必要は無いが、今回もV懇会員からの推薦とした。なお、宇電懇は会員以外からでも推薦しているとのこと。

参考資料：メール、V懇会長宛の天文台からのメール、5/11ページ参照

参考資料：米倉さん作成運営会議委員の履歴9期分、7/11ページ参照

参考資料：現在の委員 <https://www.nao.ac.jp/about-naoj/organization/info.html>
 - (イ) 2022年 VLBI 懇談会シンポジウム開催について
 - ① 開催場所：東北大学での開催となった。三澤さんより了承を得ています
 - ② 開催時期：他の研究会などとの兼ね合い、会場の条件などを考慮してSOC,LOCで決定してゆく。
 - ③ 天文台研究集会助成への申請
 - ・今年から「分野を代表する団体」などのカテゴリ分け受付が廃止され、一本化された申請窓口となる。1件あたり採択額は100万円以内。
 - ・締め切りは第1回の1月21日と、第2回の6月24日だが、これからSOCを決めて準備に取りかかることを考えると、2回目の6月24日締め切りでの申請が現実的であろう。
 - ・IAU シンポ@鹿児島(Maser 国際研究会, 2023年3月)も同助成に申請。こちらは1月21日締め切りに申請を予定している (by 今井さん)。

参考資料：2022年度国立天文台研究集会の公募について(通知)、8/11ページ参照
 - ④ LOC チェアおよび構成員：チェアは三澤さん
 - ⑤ SOC チェア：元木さん(山口大学)にお引き受け頂いた。

参考資料：近年のSOC,LOC履歴、3/11ページ参照

5. 報告

(ア)2021 年度 V 懇シンポ(中川)、および学生 V 懇(高村)の報告

- ・セッション間の休憩時間に対面で様々な話が交わせたことはやはり対面のメリット
- ・会場には、せめて大きなスクリーンを 1 つ設けて映し出す程度の工夫が必要である
- ・今後はリモート参加が確立していきそう。少し遠い分野の研究者や学生、子育てや介護をされる方など、対面参加が困難な人のニーズを満たしている事実がある。
- ・ポスターは Slack 空間での掲示に加え、対面会場でのリアルな掲示があってよい。(今回はコロナ対応のために諦めた経緯がある)
- ・学生 V 懇では世話人から働きかけて出席を依頼しているケースもあり、精力的。

(イ)V 懇ホームページ更新 <https://www2.nict.go.jp/sts/stmg/vcon/>

役員名、会則、総会資料アップロードなど

(ウ)教科書 WG 2021 年 5 回の会合、骨格ができたがまとめ具合と細部を検討中。

今後はお金が必要。寄付を募る考えであり、V 懇役員会で今後議論を予定。

V 懇の歴史書 WG は必要に応じて進展を共有してゆく。ちなみに V 懇設立は 1990 年。

(エ)会計監査委員 2022 年度は小川英夫先生に依頼することとなりました。よろしく願いいたします。

以上

以下、会議の際の参考資料

・2022-2023VLBI懇談会 役員構成

- ・会長 小林秀行
- ・事務局長 中川亜紀治
- ・機関幹事 12名
 - 関戸衛 (情報通信研究機構)
 - 青山雄一 (国立極地研究所)
 - 米倉覚則 (茨城大学)
 - 中川亜紀治 (鹿児島大学、事務局長兼務)
 - 高羽浩 (岐阜大学)
 - 三澤浩昭 (東北大学)
 - 新沼浩太郎 (山口大学)
 - 寺家孝明 (国立天文台)
 - 湯通堂亨 (国土地理院)
 - 土居明広 (JAXA/宇宙科学研究本部)
 - 小川英夫 (大阪府立大学)
 - 高村美恵子 (学生幹事)
- ・全国幹事 5名
 - 今井裕
 - 藤沢健太
 - 岳藤一宏
 - 秦和弘
 - 赤堀卓也
- ・事務局
 - 武士俣健
 - 小森明代
- ・会計監査委員
 - 小川英夫

・V懇シンポ 近年のSOC,LOC履歴

2021 開催：NAOJ 三鷹 ハイブリッド開催

SOC：中川亜紀治(鹿児島大, Chair), 湯通堂 亨(国土地理院), 木村公洋(JAXA), 岡田 望(茨城大), 萩原喜昭(東洋大), 寺家孝明(NAOJ)

LOC：寺家孝明(NAOJ, Chair), 小林秀行(NAOJ), 秦 和弘(NAOJ), 高村美恵子(東京大), 小森明代(NAOJ), 武士俣 健(NAOJ)

2020 開催：(On line)

SOC：新沼浩太郎(山口大, Chair), 寺家孝明(NAOJ), 三澤浩昭(東北大)

LOC：関戸 衛(NICT, Chair), 小林秀行(NAOJ), 小森明代(NAOJ), 武士俣 健(NAOJ)

2019 開催：大妻女子大

SOC：藤澤健太(山口大, Chair), 小林秀行(NAOJ), 関戸 衛(NICT), 土居明広(JAXA/ISAS), 中川亜紀治(鹿児島大), 本間希樹(NAOJ)

LOC：米倉覚則(茨城大) 他

2018 開催：熊本大

SOC:今井 裕(鹿児島大, Chair), 赤堀卓也(NAOJ), 廣田朋也(NAOJ), 栗原 忍(国土地理院)

LOC：高橋慶太郎(熊本大, Chair), 藤澤健太(山口大), 米倉覚則(茨城大)

2017 開催：帝京科学大

SOC：川口則幸(NAOJ), 中井直正(筑波大), 岳藤一宏(NICT), 秦 和弘(NAOJ)

LOC：倉山智春(帝京科学大), 米倉覚則(茨城大), 杉山孝一郎(NAOJ)

2016 開催：山口大

SOC：米倉覚則(茨城大, Chair), 川畑亮二(国土地理院), 今井 裕(鹿児島大), 関戸 衛(NICT), 廣田朋也(NAOJ)

LOC：藤澤健太, 新沼浩太郎, 元木業人, 青木貴弘, 松本尚子, 中村 拡(山口大)

2015 開催：東洋大 白山キャンパス

SOC：藤澤健太(山口大, Chair), 川口則幸(NAOJ), 川畑亮二(国土地理院), 岳藤一宏(NICT), 中井直正(筑波大), 本間希樹(NAOJ)

LOC：米倉覚則(茨城大), 河野裕介(NAOJ), 三好 真(NAOJ), 萩原喜昭(東洋大, 現地開催責任者)

2014 開催：国土地理院

SOC:川畑亮二(国土地理院), 澤田佐藤聡子(NAOJ), 土居明広(JAXA/ISAS), 中川亜紀治(鹿児島大), 米倉覚則(茨城大)

LOC：金子紘之(筑波大), 国土地理院関係者

2013 開催：筑波大

SOC：栗原 忍(国土地理院), 岳藤一宏(NICT), 萩原喜昭(NAOJ, chair), 藤澤健太(山口大), 村田泰宏(ISAS)

LOC：中井直正, 瀬田益道, 永井 誠, 石井 峻, 金子紘之, 荒井均, 今田大皓 (筑波大)

2012 開催：NICT 小金井

SOC：小山(NICT), 福崎(国土地理院), 永山(NAOJ), 新沼(山口大), 半田(鹿児島大)

LOC：--

・国立天文台運営会議 委員構成へのリンク

<https://www.nao.ac.jp/about-naoj/organization/info.html>

・委員の推薦に関し、VLBI コミュニティ教授職 北から

徂徠さん、久野さん、米倉さん、新沼さん、高橋さん、などなど

以上

差出人: [Hideyuki Kobayashi](mailto:Hideyuki.Kobayashi@nao.ac.jp)
宛先: [nakagawa_akiharu](mailto:nakagawa_akiharu@nao.ac.jp)
Cc: [kenta](mailto:kenta@yamaguchi-u.ac.jp); [Kawaguchi](mailto:kawaguchi@nao.ac.jp)
件名: Re: 国立天文台運営会議委員推薦依頼
日付: 2021年12月27日 21:38:25

中川様

下記の問い合わせが、国立天文台から来ています。
役員会で議論をお願いします。

小林秀行

差出人: Junichi Watanabe <jun.watanabe@nao.ac.jp>
送信日時: 2021年12月27日 21:18
宛先: [Kawaguchi](mailto:kawaguchi@nao.ac.jp) <kawaguchi@nao.ac.jp>
CC: [Hideyuki Kobayashi](mailto:hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp) <hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp>; [kenta](mailto:kenta@yamaguchi-u.ac.jp) <kenta@yamaguchi-u.ac.jp>
件名: 国立天文台運営会議委員推薦依頼

VLBI懇談会 川口様

CC:小林様、藤沢様、

皆様、お忙しいところ、失礼いたします。

国立天文台の活動に対し日頃より、ご支援いただきありがとうございます。

運営会議は国立天文台の運営に関する重要事項や研究教育職員の人事について議論する重要な任務を負っている会議です。2022年の3月末で現在の委員が任期を迎えます。次期(2022年度~2023年度)の新たな委員について検討をはじめると、その候補者について貴団体からの推薦を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。なお、運営会議は教授人事についても扱いますので、教授職の方をご推薦ください。適切な方を複数名ご推薦いただくとともに、できる限り女性研究者の推薦をお願ひできれば幸いです。

委員の最終的決定は、皆様からの推薦を受けて、研究分野や所属機関の多様性、地域的配慮、ジェンダーバランス及び現委員会の継続性(2期は継続するのが、これまでの慣例となっています)などを考慮しつつ最終的に調整をさせていただきます。委員の定数は限られておりますので、すべてのコミュニティからの推薦をそのまま実現することは困難な状況です。新たにご推薦いただいた通りに就任頂くとは限らないことをあらかじめご了解ください。

なお、推薦の期限は、委嘱手続きなどの期間を取るため、できれば

2022年1月末日

までに、総務担当副台長宛(jun.watanabe@nao.ac.jp)にお送り下さい。

2021年12月28日 国立天文台長 常田佐久
(代理送信:総務担当副台長:渡部)

推薦をお願ひする委員会

○運営会議(国立天文台の重要事項、教育研究職員の人事など)

なお、現在の運営会議の外部委員および任せられた期間については下記に記載しておきます。

本状送り先: 光学赤外線天文学連絡会、宇宙電波懇談会、理論天文学宇宙物理学懇談会、VLBI懇談会、太陽研究者連絡会、

以上

記

現国立天文台運営会議委員 第9期(任期:2020年6月18日～2022年3月31日)
台外委員

-
- 犬塚修一郎(名古屋大学大学院理学研究科教授) 1期目
 - 大橋正健(東京大学宇宙線研究所教授) 2期目
 - 河北秀世(京都産業大学理学部教授) 2期目
 - 草野完也(名古屋大学宇宙地球環境研究所教授) 2期目
 - 兒玉忠恭(東北大学大学院理学研究科教授) 1期目
 - 坂井南美(理化学研究所主任研究員) 1期目
 - 高田昌広(東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授) 1期目
 - 土居守(東京大学大学院理学系研究科教授) 【副議長】 3期目
 - 濤崎智佳(上越教育大学大学院学校教育研究科教授) 1期目
 - 藤澤健太(山口大学時間学研究所教授) 3期目
 - 山崎典子(宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授) 1期目

(以上)

凡例
女性
旧帝大以外国公立大学
私立大学

9期		河北秀世	土居守	兒玉忠恭	高田昌広	犬塚修一郎	藤澤健太	坂井南美	濤崎智佳		大橋正健	草野完也			山崎典子	
2020-		京都産業大	東大	東北	東大	名大	山口大	理研	上越教育		東大宇宙線研	名大ISEE			JAXA	
		光赤外	光赤外				電波									
8期	一本潔	河北秀世	土居守		千葉証司		藤澤健太				大橋正健	草野完也	松下恭子		満田和久	村上泉
2018-	京大	京都産業大	東大		東北大		山口大				東大宇宙線研	名大ISEE	東京理科大		JAXA	核融合研
	太陽	光赤外	光赤外		理論		電波						X			
7期	一本潔		土居守		千葉証司		藤澤健太	百瀬宗武		杉田精司	梶田隆章		松下恭子		満田和久	村上泉
2016-	京大		東大		東北大		山口大	茨城大		東大(地惑系)	東大宇宙線研		東京理科大		JAXA	核融合研
	太陽		光赤外		理論		電波	電波					X			
6期		太田耕司	山田亨		梅村雅之		奥村幸子	百瀬宗武		杉田精司	梶田隆章	草野完也			中川貴雄	村上泉
2014-		京大	東北大=>JAXA		筑波大		日本女子大	茨城大		東大(地惑系)	東大宇宙線研	名大ISEE			JAXA	核融合研
		光赤外	光赤外		理論		電波	電波								
5期		太田耕司	山田亨		梅村雅之	松元亮治	奥村幸子	大西利和		永原裕子	梶田隆章	草野完也			中川貴雄	
2012-		京大	東北大		筑波大	千葉大	日本女子大	大阪府立大		東大(地惑系)	東大宇宙線研	名大ISEE			JAXA	
		光赤外	光赤外		理論	理論	電波	電波								
4期		市川隆	芝井広		杉山直	嶺重慎	山本智	大西利和		永原裕子		草野完也	大橋隆哉	河合誠之		
2010-		東北大	大阪大		名大	京大	東大	大阪府立大		東大(地惑系)		名大ISEE	首都大	東工大		
		光赤外	光赤外		理論	理論	電波	電波					X	X		
3期	柴田一成	市川隆	芝井広		杉山直	嶺重慎	山本智	中井直正		大久保修平			大橋隆哉	河合誠之		
2008-	京大	東北大	大阪大		名大	京大	東大	筑波大		東大(地震研)			首都大	東工大		
	太陽	光赤外	光赤外		理論	理論	電波	電波					X	X		
2期							面高俊宏	中井直正								
2006-							鹿児島大	筑波大								
							電波	電波								
1期					藤本正行	佐藤勝彦	面高俊宏	春日隆	稲谷順司							
2004-					北大	東大	鹿児島大	法政大	JAXA							
2004/4月に機構発足。任期中の運営協議員が継続した??							電波	電波	電波							

関係機関の長 殿

自然科学研究機構 国立天文台
台長 常田 佐久(公印省略)

2022 年度国立天文台研究集会の公募について(通知)

このことについて、下記の通り募集しますので、貴機関の各研究者にも周知くださるようお願いいたします。

記

1. 目的

国立天文台は先端的な研究を推進する天文学および関連分野の国際的研究拠点として、全国の大学等の研究者に共同利用・共同研究の場を提供している。本事業では研究者の交流の場である国内集会および国際集会に対して助成することで、国立天文台とともに優れた研究・開発の推進、新しい研究分野の創生、次世代の人材育成、天文学の普及など天文学の発展に寄与することを目的としている。

2. 対象

- ・国立天文台研究教育職員または特任教員(年俸制職員)と共同で開催する国内／国際集会。
※これまで「一般の研究集会」「分野を代表する団体の主催する定例研究集会」「広報、普及、教育を主目的とする研究集会」と、カテゴリーに分けた募集をしてきましたが、2022 年度からはカテゴリーに分けず募集します。
- ・対象となる研究集会の開催時期は、以下のとおりとします。
第1回募集:2022 年 4 月～2023 年 3 月開催
第2回募集:2022 年 10 月～2023 年 3 月開催
- ・開催場所は、国立天文台内の施設を原則としますが、計画内容によっては他の会場や都市での開催を支援します。国立天文台以外の施設を希望する場合は、その理由を申請書の「その他要望事項」に記入してください。

3. 申請資格（次の各号のすべてに該当する者）

- (1) 国・公・私立大学及び国・公立研究所等の研究者又はこれに準ずる者（大学院在学中の者は指導教員と連名で申し込んでください）
- (2) 研究集会の申請および実施について、所属機関長の承諾を得ており、所定の様式による承諾書を提出できる者（台内の申請者については承諾書の提出は不要）
- (3) 府省共通研究開発管理システム(e-Rad)で資格停止の措置を受けていない者

4. 金額および採択予定数

年間の予算規模:900 万円程度

1件あたりの採択額:100 万円以内

※第1回募集に 2/3 程度、第 2 回募集に 1/3 程度の額を配分する予定です。

5. 対象となる経費

- (1) 旅費
- (2) オンライン開催の費用
- (2) その他申請時に認められた経費
会場および付帯設備等使用費、パンフレット印刷費、会議登録費 等。茶菓代は不可

6. 申請方法および申請期間

【申請方法】

- ・申請は 共同利用・共同研究ポータルサイト(<https://www.nins.jp/site/nous/>)から行います。
- ・「Web 申請」および「(所属機関長による)承諾書の郵送」の両方が必須です。
- ・承諾書の様式は下記の国立天文台 URL よりダウンロードしてください。
(台内の申請者は承諾書の提出は不要です。)

【申請期間】

第 1 回募集期間(対象:2022 年 4 月～2023 年 3 月開催分)

Web 申請:2021 年 12 月 1 日(水)～2022 年 1 月 21 日(金)17 時(日本標準時)

承諾書(郵送): 2022 年 2 月 4 日(金)必着

第 2 回募集期間(対象:2022 年 10 月～2023 年 3 月開催分)

Web 申請: 2022 年 4 月 15 日(金)～2022 年 6 月 24 日(金)17 時(日本標準時)

承諾書(郵送): 2022 年 7 月 8 日(金)必着

※締め切り後の申請は一切受け付けません。

【参照 URL】 <https://www2.nao.ac.jp/~open-info/kouryuu/koubo/researchassembly/index.html>

7. 審査方法および結果の通知

採否及び経費配分は、自然科学研究機構国立天文台研究交流委員会で審査し、台長が決定します。第1回の審査は2022年2月下旬から3月初旬に、第2回の審査は2022年7月下旬から8月初旬に行われます。結果は申請者本人および各機関長(学部長、附置研究所等の部局長)あてに通知します。

8. 審査基準

下記諸点に重点を置き審査します。

- (1) 学術的意義(科学研究の社会への発信の観点を含む)
- (2) 国立天文台研究集会として開催する意義
- (3) 計画性

9. 報告書

研究会終了後、30日以内に所定の様式による報告書を提出してください。提出された報告書は、ホームページ等に掲載します。また、国立天文台ニュースへの記事の執筆等のご協力をご依頼することがあります。

10. 謝辞の記載

本制度を利用して得られた成果を学術誌等で発表するときは、必ず当該制度がその成果に寄与した旨を謝辞に記載し、課題番号(NAOJ-RCC-xxxx-xxxx)を含めてください。

(記載例)

本研究(の一部)は自然科学研究機構国立天文台研究交流委員会(NAOJ-RCC-xxxx-xxxx)の助成を受けたものです。

(Part of) This work was supported by the NAOJ Research Coordination Committee, NINS (NAOJ-RCC-xxxx-xxxx).

11. 個人情報の取り扱い

申請者の個人情報については、選考および研究集会遂行の目的にのみ使用します。また、採択者の氏名・所属名・研究集会名・報告書の一部は当委員会のホームページ等で公開します。

12. 男女共同参画の推進について

国立天文台では、共同利用・共同研究や研究会等で国立天文台を訪れる方々にも男女共同参画推進関連制度をご利用いただき、男女共同参画の推進に取り組んでいます。詳しくはこちらを ご覧ください。

<https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/>

13. その他

国立天文台の諸施設の利用については、自然科学研究機構諸規則及び国立天文台諸規則を遵守し、各施設の責任者の指示に従ってください。

14. 申請書類の提出先・問い合わせ先

自然科学研究機構 国立天文台 事務部研究推進課研究支援係

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

TEL:0422-34-3661 E-mail:kenkyu-koryu(at)nao.ac.jp

ホームページ: <https://www2.nao.ac.jp/~open-info/kouryuu/index.html>